

連携室だより

# 鹿児島医セン

鹿児島医療センター(心臓病・脳卒中・がん専門施設)

2023.12 vol.212

## 職場紹介

### 【東7階病棟】

東7階病棟は、一般病床50床の循環器内科病棟です。主な疾患は、狭心症や心筋梗塞などの虚血性心疾患、大動脈弁狭窄症などの弁疾患、うっ血性心不全など心臓病全般を対象としており、急性期、回復期、慢性期、終末期と様々な状況にある患者さまが入院しています。疾患の特性上、突然発症する患者さまが多く、夜間や土日問わず24時間体制で入院受け入れを行っています。主な検査・治療は、心臓カテーテル検査及び冠動脈拡張術、大動脈弁狭窄症に対する経カテーテル的大動脈弁置換術（TAVI）、薬物治療などを行っています。TAVIを受ける患者さまを含め、心疾患の患者さまの高齢化が進み、複数の疾患や認知症を抱える方も多い病棟です。

東7階病棟の看護としては、重症患者さまの状態変化に注意した全身状態の観察、心電図モニターの観察を行い異常の早期発見に努めています。また、虚血性心疾患や心不全などは退院後も自己管理が必要であり、個別性に合わせた生活指導を行っています。特に、慢性心不全の患者さまは再入院を繰り返すことがあります。住み慣れた場所で安心して暮らすことができるように、心不全療養指導士を中心に療養指導、ACP導入、意思決定支援ができるよう取り組んでいます。末期心不全患者さまの看護では、緩和ケアチームと連携し患者さま・家族が望む医療・ケアを受け、その人らしい生き方が選択できるよう支援しています。医師、MSW、栄養士、理学療法士など多職種によるカンファレンスを週1～2回開催し、患者さまの治療・看護の方針の確認、介入方法、退院後のサポートなどを話し合っています。多職種カンファレンスを行うことで、職種間のコミュニケーションがスムーズに行えるようになり、チーム医療に繋がると考え積極的に取り組んでいます。

高齢化に伴い、入院患者さまの半数が80～90代の方であり、高齢者看護、認知症看護にも取り組んでいます。入院中だけでなく退院後の生活も見据え、リハビリカンファレンスを通して理学療法士と転倒予防について検討し、患者さまが安心・安全に過ごせるよう努めています。急性期から終末期までそれぞれの患者さまに寄り添った看護、そしてチーム医療ができるように、これからも多職種で協力、連携していききたいと思います。地域連携については、昨年、心不全の地域連携パスが完成しました。今後は関連病院と連携し、心不全患者さまの治療・看護がシームレスに行えるよう取り組んでいきたいと思っています。

心不全の患者さまは毎年1万人ずつ増加しており、2030年には患者さまが大幅に増加する「心不全パンデミック」が起これと予想されています。今後も、院内や地域の方々と連携し、質の高い医療・看護が提供できるように一丸となって取り組んでいきたいと思っています。

(文責：東7階病棟看護師長 今吉 弥生)



▲多職種による心不全カンファレンスの風景

# 消防避難訓練を実施して

令和5年10月30日に今年1回目の消防避難訓練を実施しました。消防避難訓練については、消防法に基づき、病院においては1年間に2回以上実施することが義務づけられています。しかしながら、ここ数年間は、新型コロナウイルス感染症の影響により、実施が困難な状況があり、過去3年間で消防避難訓練の実施は今回の訓練を含めて2回という状況でした。

消防避難訓練実施の趣旨としては、実際に火災が発生した際にどのような動きをするのか、どのように対処するのかを日頃から意識すること、また、必要な物品の準備や設備を適正に使用することができるかを確認することだと認識しています。前記のような背景から、ここ数年は訓練の実施回数が少なかったことを踏まえ、今回の訓練は、初期消火や避難誘導、報告連絡などの基本的な動きや、各自の役割分担の再確認を念頭にシナリオを作成しました。また、平日昼間の想定であるため、自衛消防隊甲編成による訓練としました。出火場所は、リハビリテーション科休憩室とし、隣接する病棟（東3階病棟）への延焼を想定し、病棟の患者様を避難場所まで誘導する流れとしました。

訓練実施後の消防局の講評では、火災発生直後の患者様への情報伝達（何が起こったのかを速やかに共有すること）の重要性と、より迅速な避難誘導體制の構築、患者搬送に加えて、独歩可能な患者様への経路案内等の重要性についてご指導をいただきました。ご指導いただいた内容を踏まえ、今後の体制や訓練の実施を検討していきたいと考えております。また、消防局の隊員による消火器操作訓練では、主に入職1年目の職員に実際に消火器の操作を体験していただきました。中には消火器を初めて扱う方もおり、訓練の重要性を再確認した次第です。

何事も日頃の備えが重要です。昨今は、火災だけでなく、地震や豪雨等の災害も多く発生しております。

今後も、災害を含めた有事の際にも、迅速に対応できるよう、院内の体制整備に努めてまいります。

（文責：庶務班長 江藤 貴浩）



**1** 火災発見



**2** 初期消火



**3** 避難誘導



**4** 避難誘導



**5** 対策本部



**6** 対策本部



**7** 消火器訓練



**8** 消火器訓練

# 日本口腔ケア学会 第2回 鹿児島口腔ケアフォーラム

テーマ

フレイル予防を目指した口腔管理  
ーオーラルフレイルを考えるー

日程

2024年(令和6年)  
2月4日(日)

時間

9:00~12:30  
(8:30開場)

会場

鹿児島医療センター2階 会議室

参加費

1,000円

※期日までに指定の口座にお振込みください。

大会長

鹿児島医療センター歯科口腔外科 中村 康典

※定員 100名程度

講演1:9:05~9:35 「急性期病院における口腔機能低下症」

講師:独立行政法人国立病院機構

鹿児島医療センター 歯科口腔外科 中村 康典 先生

講演2:9:40~10:40 「口腔機能低下症の現状と今後」

講師:鹿児島大学大学院 医歯学総合研究科

口腔顎顔面補綴学分野 准教授 西 恭宏 先生

特別講演 11:00~12:20

「摂食嚥下障害の評価と訓練の実際」

講師:東京医科歯科大学 大学院医歯学総合研究科

摂食嚥下リハビリテーション学分野 教授 戸原 玄 先生

【お問い合わせ先】

独立行政法人国立病院機構  
鹿児島医療センター  
〒892-0853  
鹿児島市城山町8番1号  
TEL: 099-223-1151



【参加申込み】

※申込は以下のURL又はQRコードから！

<https://forms.gle/ZZYnk5aPMALEqIS6> 検索



申込期限:2023年1月21日(日)

■共催 一般社団法人日本口腔ケア学会

独立行政法人国立病院機構鹿児島医療センター  
株式会社大塚製薬工場

■後援 鹿児島県歯科医師会

鹿児島市歯科医師会

鹿児島県医師会

鹿児島市医師会

鹿児島県病院薬剤師会

※本フォーラムは日歯生涯研修認定の単位に加算されます。

【認定試験のお知らせ】 ※フォーラム終了後同会場にて実施  
日本口腔ケア学会口腔ケア認定資格試験(3級・4級・5級)  
開催時間:14:30~15:50

※申し込み・詳細は日本口腔ケア学会HPをご参照ください。  
<https://www.oralcare-jp.org>

■お問い合わせ先

独立行政法人  
国立病院機構

鹿児島医療センター(心臓病・脳卒中・がん専門施設)

〒892-0853 鹿児島市城山町8番1号

(代)TEL 099(223) 1151 FAX 099(226)9246 <https://kagomc.hosp.go.jp/>

メディカルサポートセンター

地域連携室専用FAX▶099(223)1177

※休日・時間外は当直者で対応します。

